

事業報告書

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

公益財団法人うなんコミュニティ財団

【2024年度事業の概要】

＜公益目的事業＞

1. 事業指定助成事業（公益目的事業区分13助成）
 - ・市民のプランを発表し仲間や資金を集める場の企画運営、発表に伴う相談支援等資金調達実施件数6件、寄付者151名、寄付総額1,655,200円
2. 基金の設置運営事業（公益目的事業区分13助成）
 - ・うんなんコミュニティ財団支援基金
 - ・Unnan-U25応援基金
 - 3事業総額150万円の助成
 - ・その他の助成プログラム：休眠預金等活用事業
 - 休眠預金等活用事業（2021年度採択分）：4団体の伴走支援、地域課題整理や繋がり
の可視化
3. ワークショップ及び研修・イベント等開催事業（公益目的事業区分4体験活動等）
 - ・コーヒー会及びうんコミュニカフェの実施
 - 開催数5回、参加者延91名、共有課題数4件（実行団体より報告）
4. 調査研究事業（公益目的事業区分6調査、資料収集）
 - ・相談受付、ヒアリング等：延82件
 - ・孤立状態の人を支える団体等の調査、支援、ステークホルダーシートの利活用等
5. 情報収集・発信事業（公益目的事業区分6調査、資料収集）
 - ・広報：SNSやHP等での発信
 - ・視察受入 10件（まちづくり団体、研究機関、行政関係者等）
 - ・講師派遣 5件（終活支援センター、市外コミュニティ財団での事例紹介等）

＜収益事業＞

1. 市民活動促進支援事業
市民活動の拠点として三日市ラボの管理運営

＜法人管理＞

- ・管理システムの導入、強化
- ・一般事業主行動計画の実施（雇用環境整備）

【事業活動】

<公益目的事業>

1. 事業指定助成事業(公益目的事業区分13助成)

市民のプランを発表し仲間や資金を集める場の企画運営、発表に伴う相談支援等

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・プラン共有発表会を通じて地域の主体が繋がっている
- ・プラン共有発表会后、繋がった人どうしで応援し合っている
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わっている

<事業の成果>

- ・資金調達実施件数／6件
- ・寄付総額／1,615,200円
- ・寄付者／151名

クラウドファンディング実施条件は昨年度に引き続き本人を含めプロジェクトを推進する仲間が5名以上いることとし、実施団体・コミュニティで広報、寄付の呼びかけ等を行った。また、弊財団として目的や手段の明確化、目標設定、広報等のサポートを実施した。

	時期	プラン名・団体名	内容
1	2024年 4～5月	雲南INakaBOUND グオン ジヒョン	<p>■目的 外国人という観点から、訪日観光客にとってはとても魅力あふれる旅行先であるが、WEB上で雲南市に関する情報やコンテンツが非常に少ないため、情報発信を通して雲南市の経済の好循環に繋げる。</p> <p>■寄付金総額 277,000円 ■寄付者 40名 ■達成率 32.5% ■詳細 www.unnan-cf.org/blog/bound ※2023年3月から開始。寄付金額及び寄付者数実績は2024年度分を記載</p> <p>■成果 ※2025年5月15日時点 ・Instagramリール制作: 36件 ・Instagramリール閲覧数: 1000~6000view また、雲南市役所うんなん暮らし推進課に月2件提供(6件納品完了) ・note制作: 17件 ・note全体ビュー: 641view</p>
2	2024年 4～9月	格差なく、子どもたちの可能性を発見するデジタルラボ 一般社団法人エンター	<p>■目的 日常の中でデジタルツールに触れ、使用する居場所を設立・運営することで、都市部と地方の機会の損失の格差を解消し、かつ自身のキャリア観に広がりを持つ運用を行う。</p> <p>■寄付金総額 207,000円 ■寄付者 28名</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ■ 達成率 36.15% ■ 詳細 www.unnan-cf.org/blog/picoterrace <p>※2023年3月から開始。寄付金額及び寄付者数実績は2024年度分を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ開催: 29回 ・ワークショップ延参加者数: 281名 ・子どもから「ここは自分たちの秘密の場所」という声があった。居場所的役割を当事者である子ども自身が体感していることが実感できた。
3	2024年 9～11月	雲南ミュージックフェス立ち上げ 雲南ミュージックフェス企画・運営チーム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的 音楽好きが多い雲南で、賑わいと世代間交流の場(雲南ミュージックフェス)を提供する ■ 寄付金総額 112,100円 ■ 寄付者 17名 ■ 達成率 22.42% ■ 詳細 www.unnan-cf.org/blog/unnanfes ■ 活動者SNSリンク: https://www.instagram.com/unnanmusicfes/ ■ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数約200人 ・来場者、出演者から感謝の声、継続の声あり ・スタッフとの繋がりが作れた ・2025年も実施予定
4	2024年 9～2025 年3月	2024烏帽子掛けハイキング 道受け継ぎプロジェクト 下熊谷の地域遺産を守る会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的 希少生物の保護及び下熊谷地内烏帽子かけ周辺の散策道の整備 ■ 寄付金総額 55,100円 ■ 寄付者 10名 ■ 達成率 57.04% ■ 詳細 www.unnan-cf.org/blog/hiking2024 ■ 成果 ミヤマアオイ生育及び看板設置によるギフチョウの保護
5	2024年 12月～ 2025年2 月	まちのキャリアセンターで、 若者が元気なまちへ 一般社団法人umi	(ふるさと納税を活用したクラウドファンディング) <ul style="list-style-type: none"> ■ 寄付金総額 727,500円 ■ 寄付者 42名 ■ 達成率 72.7% ■ 詳細 furusato-forgood.jp/projects/173 <p>※事業期間は2025年度以降</p>
6	2024年 12月～ 2025年2 月	お味噌づくり体験で、食の大 切さを伝えたい じねんにみそ	(ふるさと納税を活用したクラウドファンディング) <ul style="list-style-type: none"> ■ 寄付金総額 276,500円 ■ 寄付者 14名 ■ 達成率 27.6%

			<p>■ 詳細 furusato-forgood.jp/projects/106</p> <p>※事業期間は2025年度以降</p>
--	--	--	--

2. 基金の設置運営事業（公益目的事業区分13助成）

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす

<事業で目指す状態>

- ・基金を通じて地域の主体が繋がっている
- ・地域の資金が地域の中で活用されている

<事業の成果>

- ・基金の運営／3件

(1) うんなんコミュニティ財団支援基金

- ・目的: 地域の資源循環や公益活動の基盤をつくっていく弊財団の活動の支援
- ・基金設置者: 公益財団法人うんなんコミュニティ財団
- ・寄付件数 延21件
- ・寄付金額 109,100円

(2) Unnan-U25応援基金

- ・目的: 基金の活用により「生きにくさ」や「不安・孤独」を抱える子どもの支援が急務と考え、概ね25歳以下の子どもや若者が、不安を抱えず自分らしく生き生きと暮らすことができる雲南を目指す
- ・基金設置者: 公益財団法人うんなんコミュニティ財団
- ・2024年度助成総額: 1,500,000円

	事業名・団体名	事業内容と成果	助成額
1	発達症の子どもたちの可能性を高める支援事業 一般社団法人みかた麴社	<p>■事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達症等があり通常の高校では学び辛い子どもの支援 2. 当事者やその家族などの当事者コミュニティの強化 3. 専門性の高い人材を育成 <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別療育が担当できる専門性のある教員が1名育成された ・可能性を高めることができている高校生の人数: 2名 ・子ども向けの体験の場づくり: 3回（農家さんの畑仕事、福祉サービス事業所での体験活動、就労移行支援施設での体験） ・発達症への理解啓発活動: 5回 	900,000円
2	地域で子育てができる環境づくり事業 mama's smile はぐ	<p>■事業内容 （常時）</p> <p>うんなんママ・プレママLINEグループの運営、HAPPYプレママBOX事業、相談事業 （毎月1回程度）</p>	400,000円

		<p>講座やワークショップ、イベントの開催、助産院と連携した産前産後の講座や産後ケアの啓発活動、子ども食堂の運営 (隔月1回～) 多胎サークル運営支援、季刊誌の発行、啓発冊子の作成</p> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママたちが気軽に情報交換できるLINEオープンチャットの登録者数:230人(38人増) ・LINE内で地域のお役立ち情報の共有件数:144件 ・LINE内での相談件数:22件 ・対面での勉強会開催:16回(参加者延57人) ・対面の個別相談:延べ26人 ・参加者みんなで見合える子ども食堂の開催:11回(参加者延501人) 	
3	<p>地域と連携した実践食育事業</p> <p>じねんにみそ</p>	<p>■事業内容</p> <p>家庭環境に関係なく子どもたちが地域の素材に触れ、日本食文化や伝統的な製法を体験できる機会の提供を地域住民や教員と連携しながら学校で実施する</p> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本食文化の継承がされた開催数と人数:6回(学校3校)、141名 ・食の大切さや豊かさを知るきっかけになる <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> - おみそをつくるのも大変だけどおみそをつくるために使う大豆などを作るのも大変なのでありがたいと思いました。 - みそをせかつくつたから、近所の人や、家族、学校の人などたくさんのひとにたべてもらいたい。みそはたくさんの人の頑張りを得て作られているところに感動した。これからも家族といっしょのみそをつくって行きたいです。 	200,000円

(3) その他の助成プログラム:休眠預金等活用事業

休眠預金を活用した助成及びプログラムオフィサーによる伴走支援を実施。

実行団体と毎月1回以上、また必要に応じて随時ミーティングを実施し、事業の進捗確認や情報の整理、成果と活動が繋がっているか、事前・中間・事後評価の実施や助成終了後の戦略について等協議した。同様にコンソーシアム及びJANPIAとも毎月1回以上のミーティングを実施した。

また、実行団体へは必要に応じて事務サポートや組織の基盤強化に必要な助言、コンソーシアム(資金分配団体、実行団体)間での学び合い(オンライン及び視察)等を実施した。

<事業の目的>

- ・国や地方公共団体が対応困難な社会課題解決を図る
- ・民間公益活動の担い手育成と民間公益活動に係る資金調達環境整備

<事業で目指す状態>

- ・社会課題解決のための自律的・持続的な仕組み構築
- ・民間公益活動実施団体の資金的自立と事業の持続可能性の確保

<テーマ(東近江・南砺・雲南コンソーシアム共通)>

「社会的困難者を支えるローカルアクション」

地域における生きづらさを抱える社会的困難者を支援する。具体的には、(1)社会的困難者とつながるための多様なアクセス環境の整備、(2)社会的困難者とつながり続けるための多様なサポート体制の構築、(3)社会的困難者と地域をつなげるための協働の仕組みづくり、の3つの柱に基づき活動を展開。これにより地域における複雑化した社会課題を解決するための人と人、人と地域などをつなぎ、社会関係資本の拡張を目指す。最終的には、住民自治組織を基盤に、世代や分野を超えた協働により、誰もが支え合う全世代型地域共生社会の実現を目指す。

また、この取り組みを通じて、市域レベルでの知の構造化も図り、持続可能な地域づくりを推進する。

・実行団体(雲南):4団体

	事業名	内容
1	高齢者の移動支援: 走れ「よりそい号」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体名: 躍動と安らぎの里づくり鍋山 ■ 確定助成額: 7,961,099円 ■ 事業の直接対象者: 鍋山地区内の65歳以上(特に免許のない人) ■ 事業概要 時間に縛られずにちょっとした距離の移動からサポートできる柔軟な移動方法として有償運送の計画をたて、移動の不便さから外出困難になる現状を変えていくことで65歳以上で移動に困っている方に地区内の移動支援を行う。 ■ 結果・成果 <ul style="list-style-type: none"> ・有償運送マニュアル完成 ・運転者の資格を取得している人数: 9名 ・利用登録者: 72名 ・利用者: 57名 ・利用実績: 延1172回 ・当事業で暮らしやすくなったとアンケート回答した人: 16名 ・当事業で生活の楽しみが増えたとアンケート回答した人: 13名 ■ 成果報告書 鍋山 事後評価報告書
2	地域全体で子どもを育て、子どもが育つ中で大人も交流する「地域まるごと子育て縁」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体名: 株式会社CNC ■ 確定助成額: 13,951,669円 ■ 事業の直接対象者: 雲南市内在住で、近隣に血縁・地縁が乏しいために子育てのサポートを得にくい15歳以下の子どもがいる家族世帯 ■ 事業概要 近隣に血縁・地縁が乏しく、子育てのサポートを得にくい家庭に対して保育・教育サービスを提供し、有事に頼りあえる共助のネットワークを構築する ■ 結果・成果 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者と繋がっている: 3名 ・地縁血縁はあるが子育ての悩みを抱え、孤立しがちな世帯との繋がり: 9名 ※直接対象者であるかどうかを聞くことで心の距離が離れる可能性が高いため、ご本人からの言葉で判断 ・連携事業者と、直接対象世帯(潜在受益者)の紹介がなされる関係を築いている <ul style="list-style-type: none"> - 情報共有回数・話し合いの実施回数: 各24回 - 直接対象者の紹介があった団体数: 2団体 ・地域まるごと子育て縁のネットワークがある <ul style="list-style-type: none"> - 日常的に来縁する地域住民の人数: 3名 - イベントの手助けなど具体的に知る地域住民の人数: 43名 - LINE登録者: 107名(直接対象者以外を含む) ■ 成果報告書 CNC 事後評価報告書
3	生活不活発病を防ぐ食の見守りネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体名: あそびばキッチン・コンソーシアム(幹事団体: あそびばキッチン実行委員会) ■ 内定助成額: 10,942,345円 ■ 事業の直接対象者: ■ 事業概要 「生活不活発病」を食とアウトリーチで支えるネットワーク事業～生活不活発病(社会

		<p>的、身体的、心理的に虚弱の状態)が懸念される方(主に高齢者)に、栄養教室や食品の移動販売を通じて、各々の身体状況に適した食を選ぶ力を養い、食生活を見守るアウトリーチ型の活動を実施。</p> <p>■結果・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の生きがい創出のコーディネート件数:8件 ・生きがい創出の地域活動を行った対象者の人数:11人 ・高齢者の健康や食を支える多様な人材が交流する場や協働活動:協働活動件数28件、連携団体54団体 <p>■成果報告書 あそびば_事後評価報告書</p>
4	学生が希望を持てるまちのキャリアセンター	<p>■ 団体名:一般社団法人umi</p> <p>■ 確定助成額:5,036,354円</p> <p>■ 事業の直接対象者:地域社会で学び実践したい大学生</p> <p>■ 事業概要</p> <p>大学生が在学中から地域社会と関わる機会を提供することで、大学生は自身のキャリアへの不安を払拭し地域社会に希望を持てるように、また大学生に刺激を受けた地域住民も成長し新たな活動が生まれるように3つの点で支援していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる窓口の設置及びサポート 2. 地域と大学生が目指す方向性を共有し活動・成長できるプログラム実施(企画・運営) 3. 地域住民と大学生の繋がりを取り持つ <p>■結果・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口に来た大学生の数:134名(実数71名) ・設置窓口を通じ地域に送り出された大学生:94名(実数44名) ・地域社会で活躍する自分自身のイメージを言語化できた大学生の人数:39名 ・地域社会で活動するハードルが下がった大学生の人数:25人 ・ロールモデルとなる地域住民を見つけることができた大学生の数:30人 ・トライアルによって学生からポジティブな影響を受けた組織の数:企業3件、地域自主組織1件 <p>■成果報告書 umi_事後評価報告書</p>

・資金分配団体の成果の可視化

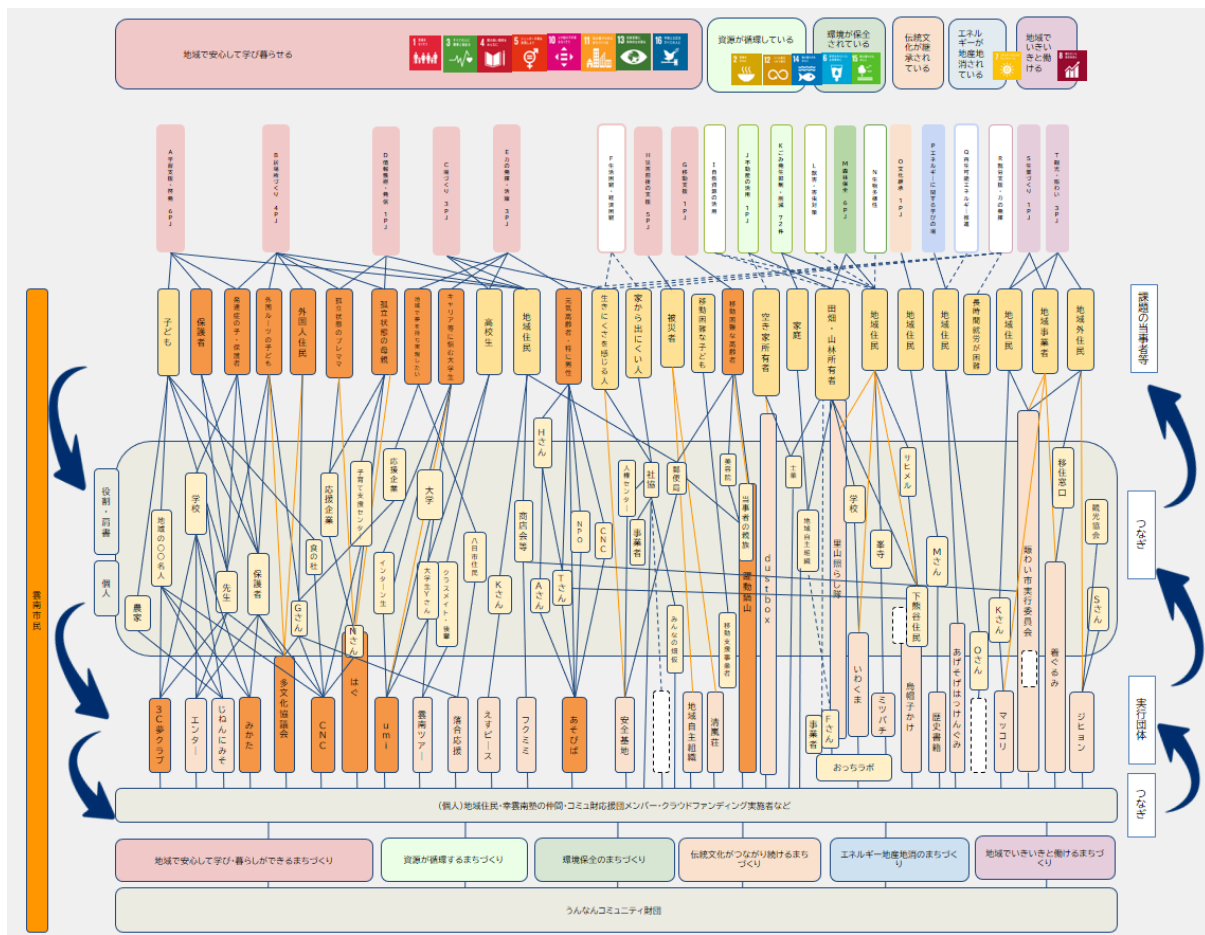
(1)南砺幸せ未来基金、東近江三方よし基金との「知の構造化」の可視化

報告書 [HUN_2022休眠草の根助成事業報告書.pdf](#)

- 実行団体の動機から始まる支援計画
- 事前評価のプロセスとその意義
- プログラムオフィサーの非資金的支援の内容
- 課題とその克服方法
- 総働体制づくりのポイント

(2)雲南の課題整理と可視化

弊財団がまだ着手できていない課題、雲南の中でも着手する団体が少なく取り組みが十分でない課題や分野について可視化した。現在の取り組み以外に、今後さらに不動産(空き家、耕作放棄地や放置山林等)の利活用や生物多様性、中間就労、エネルギーの取り組み推進が必要である。



また、各プロジェクトや市内の取り組みについて、32本の紹介動画を作成を行った。動画の発信により、視聴者からの電話でのプロジェクト問い合わせやプロジェクト実施者主催のイベント参加に繋がった。

3. ワークショップ及び研修・イベント等開催事業（公益目的事業区分4体験活動等）

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・事業を通じて地域の主体が繋がっている
- ・地域の人材や情報が地域の中で循環している

<事業の成果>

(1) コーヒー会及びうん Kommunika Cafe の実施

始めにお盆や年末年始で帰省している人を対象に開催。2025年始から毎月1回、地域住民を対象に土日開催しており、情報発信事業の出口（気になったらうん Kommunika Cafe にアクセスする）としても活用。弊財団及び実行団体の事業報告や取り組む課題について対面で話をしたり、テーマもなく参加者が気になっていることを話す機会としている。プロジェクト紹介から実際の寄付や空き家相談に繋がった。

- 開催数: 5回
- 参加者数: 延91人

	内容	参加者

8月	コーヒー会(テーマ無し) 当日の話題: 空き家の相談や中間就労について	15人 帰省した人、UIターン者、地元の人、奥出雲の人
1月 4日	うん Kommunika Cafe(テーマ無し) 当日の話題: クラウドファンディング、趣味のこと等。プロジェクトへの寄付あり。	16名 帰省した人、地元の人
2月 2日	うん Kommunika Cafe(テーマ無し) 当日の話題: 健康、ごぼう茶、コミュニティ財団とは? 等	9名 地元の人、奥出雲の人
3月 8日	うん Kommunika Cafe ・休眠事業実行団体報告 - キャリア相談窓口(umi) - 子育てネットワーク構築(CNC)	26名 地元の人、出雲の人、umiの元インターン生、
3月20 日	うん Kommunika Cafe ・日登魅力本プロジェクト共有 ・休眠事業実行団体報告 - 高齢者の地区内移動支援(躍動とやすらぎの里づくり鍋山) - 高齢者のフレイル予防(あそびばキッチン実行委員会)	25名 地元・奥出雲・江津・尾道の人、大学生

4. 調査研究事業(公益目的事業区分6調査、資料収集)

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・地域の声や課題が可視化されている・知ることができる状態になっている
- ・調査研究・発信を通じて地域の主体が繋がっている
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業の成果>

(1) 相談の受付、困りごとヒアリング等

- 相談及びヒアリング件数: 延82件

相談からクラウドファンディングの実施や、三日市ラボでのお茶販売、相談者との市内事業者の視察等に繋がった

(2) 孤立状態の人を支える団体等の調査等

(2-1) 当事者の活躍の場づくり支援団体の支援

令和5年度に実施した意見交換・ヒアリングを通じて、弊財団として着手すべき優先課題を「孤立状態にある当事者の活躍の場づくり(主に就労に繋がるもの)の支援」とした。

背景としては、子ども若者で孤立状態にある当事者及びその家族を対象に、相談できる環境づくりに取り組む団体は市内に複数存在している一方、相談のその先の孤立する当事者の活躍の場や就労場所(障がい者就労などの制度事業を除く)について取り組む人や団体が少ない現状があるためである。

・連携団体: 社会福祉法人雲南市社会福祉協議会(就労準備支援)、特定非営利活動法人カタリバ、任意団体みんなのはたけ(仮)

・内容:

- 常時、オンラインツールを活用した情報共有、意見交換

- 月1回の定期会議の開催
- 短期・中間就労引き受け事業者への訪問、意見交換(10事業)
- 雲南市内で活動する有償ボランティア組織おたがいさま雲南との意見交換会の実施(8月)
- 雲南市内の炭焼き小屋見学(1月)
- ・成果
 - 就労準備支援(無償)を実施していた1名が有償での中間就労を実施
 - 就労以外の見学事業者等の紹介がネットワーク内で13回実施
 - 協力事業者等が2から11に増加
 - アイデアや今後の構想を活発に話し合う関係性が構築



(2-2) 大人が学ぶ場づくりの開催

昨年度の課題整理後、子どもの人権については市内の任意団体が着手しているため、先述(2-1)よりは優先順位が下がったが、子どもが意見表明するための機会づくりや前段階としての大人が聴く環境を整えるための勉強会等の学びの場づくりは急務であると考え、任意団体の意思決定等を阻害しないよう、備品貸与等の形で支援を行った。なお、人件費は支出しておらず(スタッフはボランティアで参画)、ミーティング及び勉強会開催のオンライン会議ツールやプロジェクト貸与等を行った。

(2-3) ステークホルダーの可視化シートの利活用

弊財団で、孤立状態にある家庭及び広く一般家庭を対象にした事業を実施している団体等をリスト化し、過不足等について整理を行った。現在、不登校をテーマにイベント開催(2024年12月8日新しい教育のカタチin雲南)をした団体うなんGAMESが教育委員会と不登校支援の情報整理やリスト化を検討していることから、情報を共有。今後、教育委員会や市内任意団体を中心に各団体に確認の上、広く公開し活用される資料作成を予定。

今後、Unnan-U25基金での実行団体の支援や既存団体への非資金的支援(ステークホルダー及び支援団体リストの利活用、課題共有や他団体連携等)を実施する。

(3) 遺贈寄付及び不動産寄付の調査及び受入れ体制整備

- 終活支援センターでの講演(2回)
- 土業ネットワーク構築の準備(2025年度事業の前準備)
- チラシ作成

5. 情報集約・発信事業(公益目的事業区分6調査、資料収集)

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

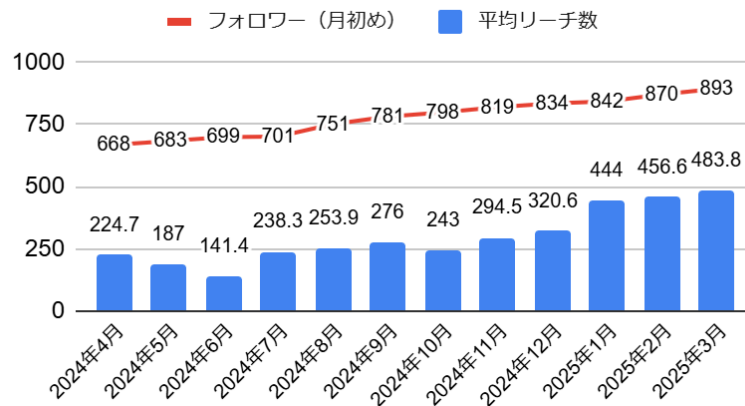
- ・地域の声や課題が可視化されている・知ることができる状態になっている
- ・情報集約・発信を通じて地域の主体が繋がっている
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業の成果>

(1) SNSでの広報(facebook 2,132人、Instagram 952人、X 409人)

- Instagram

2024年度



(2) 広報物の配布

- 年次報告書の郵送等: 1,300人
その他、市内個人や活動団体等へのヒアリング時、視察対応時に配布

(3) LINEのグループチャット「うなんコミュニティ財団」

- 参加数72名
- クラウドファンディング事業の紹介等

(4) 視察の受入10件

- ・島根県内: おんせんキャンパス(NPO法人カタリバ)、島根県デジタル推進室、石見銀山みらいコンソーシアム等
- ・島根県外: 酒田市コミュニティ財団設立準備会、九州経済研究所、但馬信用金庫、龍谷大学等
- ・内容: 財団の目的、事業紹介、設立経緯等について
- その他、三日市ラボ訪問者(市民、行政関係者、2階利用者視察等)や勉強会時等に弊財団について説明

(5) 講師派遣7件

- ・島根県内: 三刀屋高校、うなん終活支援センター、雲南市等
- ・島根県外: 中国5県中間支援組織連絡協議会、全国コミュニティ財団協会等
- ・内容: 財団の目的、事業紹介、設立経緯等について

<収益事業>

1. 市民活動促進支援事業

市民活動の拠点として三日市ラボの管理運営を実施

<事業の目的>

- ・市民活動団体等の活動の場の提供
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・三日市ラボの場を通じて地域の主体が繋がっている
- ・三日市ラボの場を通じて社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業の成果>

- ・利用者／延1,889人(2024年4月～2025年3月)
- ・視察の受け入れ、2階利用者の関係者同士、一般利用者(市内外)が、仕事やプライベート、日常の課題感や関心ごと等を気軽に話し合い、緩やかに混ざり合う場となっている。
- ・その他
 - 地域のお祭りでの施設開放(さくらまつり・えびすまつり・秋の賑わい市)
 - 2階利用者主催の勉強会や事業説明会等の開催
 - 弊財団主催「うん Kommunika Cafe」開催

<法人管理>

- ・ガバナンスコンプライアンスについて研修受講(個人情報保護、内部通報等)
 - ・法人運営、管理システム、経理等のバックオフィス支援について
- 一般社団法人全国コミュニティ財団正会員の公益財団法人京都地域創造基金より支援・指導を受け実施。
- ・一般事業主行動計画の実施(雇用環境整備)

以上